

真珠湾攻撃から75年 公式訪問団と学生が追悼記念式典に出席

日米開戦から75年の節目にあたり、これまでの長岡・ホノルル両市の平和交流の取り組みを受けて、長岡市長がハワイ海軍地域司令官から真珠湾75周年追悼記念式典に招待されたため、式典に出席します。

あわせて、長岡市の魚・錦鯉の寄贈等、長岡の魅力の世界発信とさらなる姉妹都市交流を推進するため、ホノルル市を訪問します（長岡市長の招待は今年で3回目となります）。

また、市内在住・出身の大学生・高校生が「第6回学生平和交流プログラム in Honolulu」として式典に出席するほか、平和に関する共同宣言を行います。

1 ホノルル市公式訪問の概要

- (1) 日 程 12月6日（火）～9日（金） 4日間
- (2) 訪 問 団 9人（長岡市長夫妻、国際交流協会理事長・専務理事、長岡市観光・交流部長ほか）
- (3) 主な公式日程（現地時間）
 - 6日（火）
 - 午 後 戦艦ミズーリ記念館表敬訪問 ※寄贈された零戦の破片のお礼として米海軍訪問、ホノルル市役所訪問
 - 平和レセプション 青少年の平和に関する共同宣言同席（調整中）（太平洋航空博物館）
 - 7日（水）
 - 午 前 真珠湾75周年追悼記念式典（パールハーバーヒッカム合同基地）
 - アリゾナ記念館献花
 - ホノルル動物園 錦鯉寄贈式
 - 午 後 ホノルル日本国総領事館主催懇談会

2 第6回学生平和交流プログラム in Honolulu の概要

本年は、真珠湾攻撃75周年を記念して、太平洋航空博物館で特別に開催される青少年平和シンポジウムに参加します。そこで長岡の代表学生1名がホノルルの代表学生1名と共に「平和・友好・和解」をテーマにしたエッセイを発表するとともに、ホノルルの学生とディスカッションを重ね、平和に関する共同宣言を発表します。

- (1) 日 程 5日（月）～10日（土）
- (2) 派遣学生 12人（大学生8人 高校生4人）
- (3) 主な内容
 - 5日（月）カメハメハ高校キャンパス・スタディツアー
 - 6日（火）黒焦げの水筒式典、青少年平和シンポジウム、エッセイ発表
平和ディスカッション、平和に関する共同宣言
 - 7日（水）アリゾナ記念館献花、真珠湾追悼式典出席、パンチボウル献花
 - 8日（木）知事公舎・市庁舎・総領事館訪問

3 ホノルル動物園への錦鯉の寄贈

長岡市は、長岡錦鯉養殖組合の協力を得て、開園100周年を迎えたホノルル動物園へ、「平和の象徴」として錦鯉を寄贈し、長岡・ホノルル両市から恒久平和の願いを世界へ発信します。

今回の寄贈は、戦後70年の平和交流記念事業の一環として実施した、3月のホノルル市（シェラトン・ワイキキ・ホテル）への寄贈に次ぐものです。

- (1) 日 時 12月7日（水） 午前10時30分から（現地時間）
- (2) 会 場 ホノルル動物園 ケイキズー（子ども動物園）内水槽プール
- (3) 贈呈錦鯉 長岡産錦鯉15尾（多品種、50～70cm程度）
- (4) 出席者 長岡市長、ホノルル市長（予定）、ホノルル動物園長

※ 長岡市から贈呈する錦鯉は、11月10日（木）午前8時頃、丸誠養鯉場（住所：川口相川1185-2）にて選定し、17日（木）の出荷を予定しています。

【慰霊と平和の花火 白菊の打ち上げ（長岡）】

「世界中の爆弾をすべて花火にかえよう！」を合言葉に、日米開戦から75年の12月8日、戦争犠牲者への慰霊と世界平和への願いを込めて、信濃川河川敷で花火を打ち上げます。

今年は75周年の節目の年に当たるため、打ち上げ数を倍の6発とします。

なお、打ち上げ経費は、市民の募金によって賄われています。

- ・日 時 12月8日（木） 午後7時30分から
- ・打上場所 信濃川大手大橋下流左岸河川敷
- ・打上内容 尺玉3発（白菊2発、金禿^{かむろ}1発）に続いて尺玉3発（白菊3発）
- ・その他 同日午後5時から千秋が原ふるさとの森アトリウムで「祈りの灯と調べ」を開催。アトリウム前に集まり、尺玉6発に平和の祈りをささげます。
- ・主 催 「12.8慰霊の花火打ち上げ」実行委員会：委員長 渡辺千雅氏
（事務局：長岡市総務部庶務課）

問い合わせ：

公式訪問・学生平和交流	観光・交流部国際交流課	電話39-2207
錦鯉の寄贈	農林水産部農水産政策課	電話39-2223
長岡での白菊打ち上げ	総務部庶務課	電話39-2203